

# 美術科学習指導案

三次市立作木中学校

指導者 原田 真季

1 日時 平成26年11月25日(火) 第5校時

2 場所 1年教室(2F)

3 学年 第1学年 10名(男子5名 女子5名)

4 題材名 「絵画の鑑賞」

5 題材について

## (1) 題材観

本題材は中学校学習指導要領美術編第1学年の内容「B鑑賞」(1)ア『造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること。』『共通事項』(1)イ『形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。』に関する題材である。

今回鑑賞する作品はエドゥワール・マネの「フォーリー・ベルジェールのバー」という作品である。本作品はエドゥワール・マネの最晩年の作品でマネの総決算の作品である。カウンターに両手をついた女性が描かれ、背景の鏡にはシャンデリアに照らされた、にぎやかなバーの光景が写っている。この絵画を鑑賞し、絵画のイメージや絵画の中の物語を想像し、お互いに交流する中で、絵画の鑑賞の仕方について学び、生徒の鑑賞の能力を向上させることがねらいである。

本題材を導入するポイントは以下の2つである

- ① 中心に描かれている女性の表情から女性の感情をよみとり、絵画の中の物語を導き出すことによって、絵画全体のイメージや作者の表現意図をとらえる力の向上を図ることができる。
- ② 本作品の鑑賞を通して、中心の女性、バーの様子、女性と会話している人物、光や色彩の美しさなど、様々な発見ができ、生徒の部分鑑賞の力を高めることができる。

## (2) 生徒観

本校1学年は日々意欲的に美術の授業に取り組んでいる。1学期には絵画、2学期にはデザイン・彫刻の授業を行い、それぞれ苦手な分野もあったが、どの題材もいいものを作ろうと、お互いにアドバイスしながら楽しんで制作を行ってきた。題材の導入の際、鑑賞の授業を行うことがあるが、「この作品の表現で凄だと思うところは?」「なぜ作者はこのような表現をしたのだと考えますか?」といった発問を行うと、大半の生徒は自分の考えをしっかりと書き、更には疑問に思ったことも積極的に発表ができる。しかし、中には、「わからない」「文章でどのように表現していいかわからない。」と、記述でき

ない生徒もいる。

### (3) 指導観

指導に当たって、まずは基本となる「絵画を見る力」を伸ばすため、授業の初めに数ある絵画の中からどの絵画を選んだかを当てるといったゲームを設定する。それぞれの絵画をじっくり鑑賞し、絵画を絞るための3つの質問を全体で考えさせ、正解の絵画を導き出させる。このゲームの正解の絵画となる、「フォーリー・ベルジェールのバー」の鑑賞の際には対話型鑑賞を取り入れ、生徒の意見を多様に引き出し、思考する際はワークシートに自分の意見を記入するよう指導を行い、生徒の様々な意見を引き出す中で、お互いの意見を参考にしながら、絵画の鑑賞の仕方を学び、自分の考えをしっかりと表現させていきたい。

## 6 題材の目標

絵画に描かれた様子や色彩の美しさから、作品全体のイメージを感じ取り、自分の価値意識をもって絵画の物語性を読み解くことができる。

## 7 題材の評価規準

ア 美術への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
・絵画に描かれた様子や色彩などの特徴から、絵画のよさや美しさ、表現方法などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。	・絵画に描かれた様子や色彩などの特徴から絵画全体のイメージを感じ取り、自分の価値意識をもって、絵画の中の物語を読み解くことができる。

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

絵画に描かれた様子や色彩の美しさから、作品全体のイメージを感じ取り、自分の価値意識をもって絵画の中の物語を読み解くことができる。

### (2) 本時の評価規準

- ・ 絵画に描かれた様子や色彩などの特徴から、絵画のよさや美しさ、表現方法などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。
- ・ 絵画に描かれた様子や色彩などの特徴から絵画全体のイメージを感じ取り、自分の価値意識をもって、絵画の中の物語を読み解くことができる。

### (3) 準備物

【生徒】教科書、ファイル、クロッキー帳

【教師】掲示用絵画作品、電子黒板、タブレット、ワークシート

(4) 学習展開

	学習活動	◇指導上の留意事項 (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準 (評価方法)
導入 15分	<b>1 先生がどの絵を選んで いるかを当てよう。</b>	◇2班に分け、絵をじっくり見ながら、正解の絵を絞る質問を3つ考える。全体で質問を交流し、質問を3つ決め、教師が選んだ絵画を当てる ◆絵画に使われている色・描かれている物・描画材・西洋絵画か日本絵画か、多角的な視点から質問を考えるようアドバイスを行う。	
展開 30分	<b>2 本時のめあての確認</b> めあて「絵画に描かれた様子から、作品全体のイメージを感じ取り、物語を読み解こう。」		
	<b>3 フォリー・ベルジェールのバーを鑑賞する。 【対話型鑑賞】</b> ・第一印象の交流  ・絵画に描かれている様子を読み取ろう。 (部分鑑賞)	◇電子黒板にて絵画を提示し、部分鑑賞の際は拡大し、細部までしっかり鑑賞させる。  ◇第一印象を短いキーワードで引き出す。  ◇描き方や色使いにも着目する。 ◆視点を分け、様子を読み取る。 ①ここは何をすることだろうか？ ②バーの上には何がある？ ③背景には何が描かれている？ ④女の人はどんな人と会話している？ →絵画を見ている私たちはバーのお客さん？	・絵画に描かれた様子や色彩などの特徴を、主体的に感じ取ろうとしている。 (行動観察)
	・中心の女性の表情から女性の心境を考えよう。  ◎この絵画の中の物語を読み解こう。 個人→全体  はっきり表現する	◇女性の表情をしっかり鑑賞し、個人で考えワークシートに記入した後、全体で交流する。 ◆色ペンで他者の意見を記入し、自分の考えと比較させ、次の読み取りに生かす。 ◇今まで出た意見や自分の価値意識をもって、絵画の中の物語を考えさせる。その際、その考えの根拠となるもの(表情・描かれているモノ・色彩の印象)を明らかにして、考えるよう指導を行う。 ◆別の絵画の読み取り文章を例文として配布し、書き方の参考にさせる。	じっくり考える  ・絵画に描かれた様子や色彩などの特徴から絵画の物語を読み解くことができる。 (ワークシート)
	≪目指す具体的な生徒の姿≫ 明るくにぎやかなバーにいて、接客をしているにもかかわらず、この店員の女性の表情は笑っていない。目の前にいる客の男性は無表情で、冷たく注文をしているように見える。この女性は、お店が繁盛して忙しいのに、注文してくる男性の態度があまりにも悪いので不満が募って、腹を立てているのだと思う。		

ま と め 5分	<b>4 本時のまとめ</b>	◇絵画の受け取り方は多様である。鑑賞する作品を生かすのは自分自身，自由に楽しみながら鑑賞することが大事だと伝える。	
-------------------	-----------------	---	--

9 板書計画

11 / 25 (火) 絵画の鑑賞

**本時のめあて**「絵画に描かれた様子から，作品全体のイメージを感じ取り，物語を読み解こう。」

フォーリー・ベルジェールのバー

**【第一印象】**

- ・明るい ・にぎやかそう ・女性に目がいく・華やか

**【ここは何をしたらいいところ？】**

- ・カフェ，バー ・お酒を飲むところ

**【何が描かれている？】**

**カウンターの上**：お酒の瓶・果物・花  
→光が反射して光っている，美味しそう，売り物？

**背景**：鏡・大勢のお酒を飲んでいる人・大きなシャンデリア・踊り子の足？  
→にぎやかそう，雑な描き方【女性に視線がいくように】  
女性と話している人→注文している？・無表情で注文している・女性を口説いている

**女性**：頬を赤らめている・優しく見つめている・笑っていない・不機嫌そう・泣きそう